HBe 抗体	2265000
	担当部署
HBeAb	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟３階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	設定なし
臨床判断値	陰性：ＩＮＨ(%)が５０未満を示す検体は陰性と判定します。 陽性：ＩＮＨ(%)が５０以上を示す検体は陽性と判定します。 ルミパルス HBeAb-N 試薬添付文書

基準値				単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	49.9	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		HBe 抗原は、1970 年代初頭に HBs 抗原のサブタイプとして報告された B 型肝炎ウイルス(HBV)特異抗原であるが、現在では(外被蛋白ではなく)ウイルスコア粒子の構成成分の一つであることが明らかになっている。 血中に検出される HBe 抗原は、HBV 粒子が壊れて遊離するのではなく、HBV 粒子の形成過程において過剰に産生された部分が放出されたものとされていることから、その存在は HBV の活発な増殖を反映すると考えられる。 一般に HBe 抗原陽性の血液は、感染性が高い。HBe 抗体は HBe 抗原の消失に替わって、あるいはやや遅れて血中に出現する抗体である。この場合血中ウイルス量は少なく、感染性も低い。 三菱化学メディエンス　検査項目解説　改訂第４版　376